

直近の家庭用牛乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ:次回発信日は7月25日週報(予定)

発行:一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「牛乳類消費は前週、前年ともに下回る～継続的に消費喚起の強化を～」

・7/8週の牛乳類の販売個数は、前週(7/1週)と比較すると4品目すべてのカテゴリーで減少した。35℃以上の猛暑日が相次いだ一方、梅雨前線の影響で天候がぐずつき購買機会が減少したことで消費を押し下げたと推察される。昨年は同時期、全国で梅雨明けとなっていたため、前年比でも加工乳以外の3カテゴリーで下回った。乳飲料が前年を下回るのは8週ぶり。なお、加工乳は15週連続で前年を上回っている。

・はっ酵乳の販売個数は、3品目すべてのカテゴリーで前週より減少、前年との比較でもすべてのカテゴリーで減少した。大容量タイプが前年を下回るのは3週ぶり。

・家庭用バターは価格が横ばいで推移したものの販売個数は3週連続で前週を下回った。一方、前年比は2週連続で上回っている。

・厚労省が7月8日に公表した毎月勤労統計調査によると、物価の影響を差し引いた働き手1人あたりの5月の実質賃金は前年同月から1.4%減少、過去最長を更新する26カ月連続のマイナスとなった。大手企業を中心に賃上げが相次いだ。が、物価高騰に追いついていない状況がなお続いている。米など食品の価格上昇が続く中、牛乳の消費低迷に歯止めをかけるためには、価格以上の乳の価値や魅力を発信する取り組みが必要と考えられる。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先↓↓

「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>

「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb4000009gbz.html>

【牛乳類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(7/8週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳:95.1%、成分調整牛乳:85.0%、加工乳:105.6%、乳飲料:96.4%。

牛乳類トータルでは同94.8%

※参考:2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は92.7%。

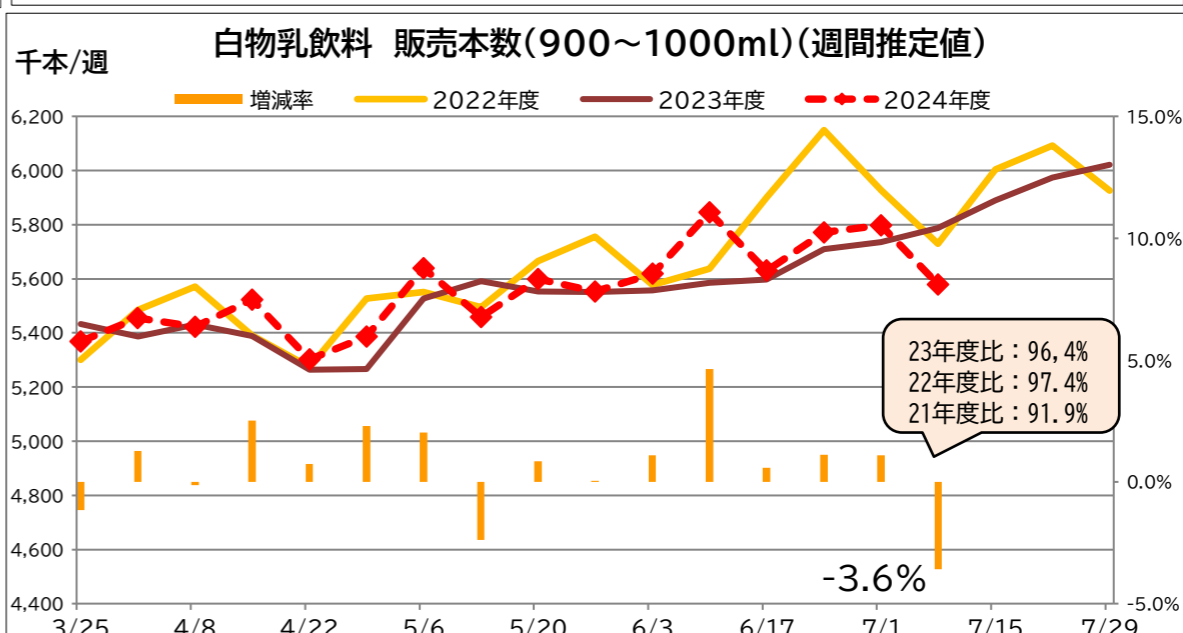
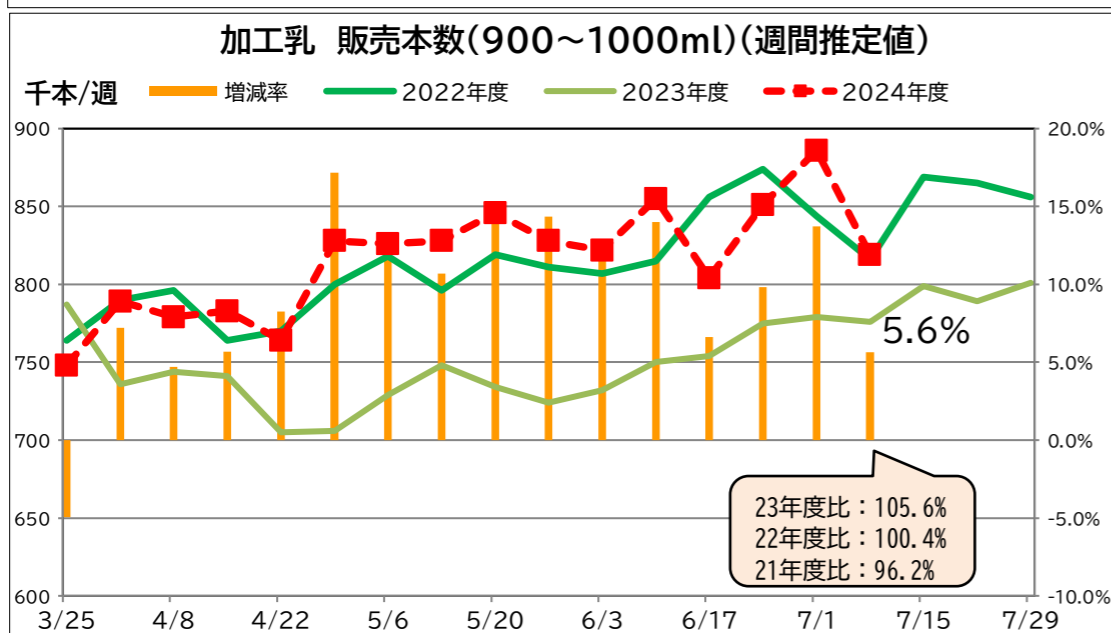
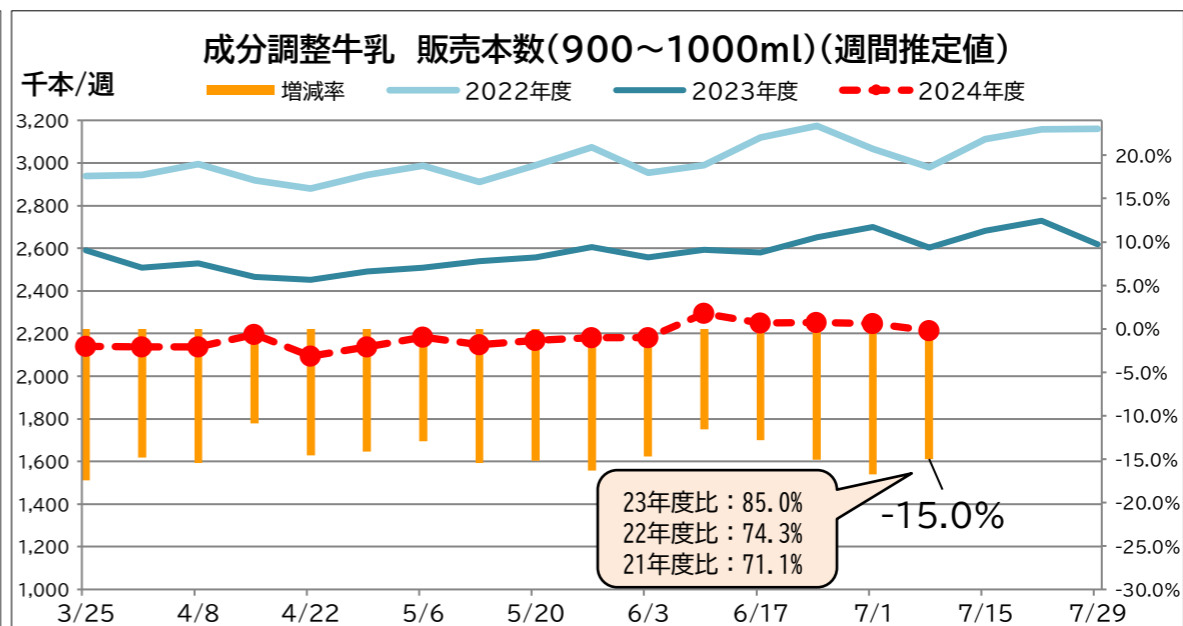
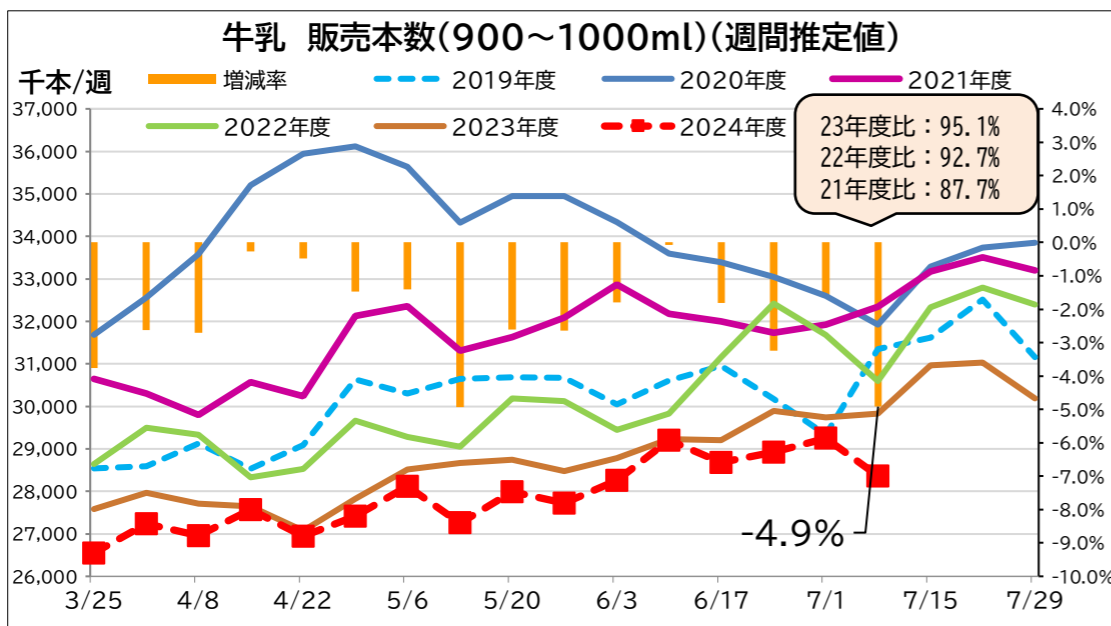
・販売単価は、牛乳:225.5円、成分調整牛乳207.9円、加工乳:218.4円、乳飲料:173.1円。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位:千個、円)

品目	区分	5.20-	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-	24.7.8- 22.10.24 価格差	24.7.8- 23.3.20 価格差	24.7.8- 23.7.24 価格差
		販売個数	36,608	36,283	36,880	38,202	37,360	37,801	38,178	36,975		
トータル	販売個数前年比	97.4	97.1	98.9	101.0	98.8	97.7	98.0	94.8	33.2	18.3	15.9
	販売単価	215.8	215.5	215.6	215.7	215.8	215.9	215.8	216.4			
牛乳	販売個数	27,994	27,722	28,260	29,207	28,676	28,926	29,247	28,363			
	販売個数前年比	97.4	97.4	98.9	100.7	98.9	97.5	98.3	95.1	35.2	18.9	17.7
成分調整牛乳	販売個数	2,169	2,180	2,181	2,294	2,249	2,252	2,247	2,214			
	販売個数前年比	84.8	83.7	85.6	88.7	87.4	85.1	83.3	85.0	34.2	19.3	14.7
加工乳	販売個数	846	828	822	855	804	851	886	819			
	販売個数前年比	115.3	114.4	114.6	117.0	109.1	112.6	113.7	105.6	27.5	17.2	6.6
乳飲料	販売個数	5,599	5,553	5,618	5,845	5,630	5,772	5,798	5,579			
	販売個数前年比	100.8	100.0	102.9	106.6	102.5	102.9	101.1	96.4	23.4	13.6	8.9
	販売単価	173.4	173.3	173.1	173.4	173.1	172.8	173.3	173.1			

【グラフ】各品目直近の販売本数推移



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):インテージSRI+】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(7/8週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上(3品目合計前年同期比90%以上)。

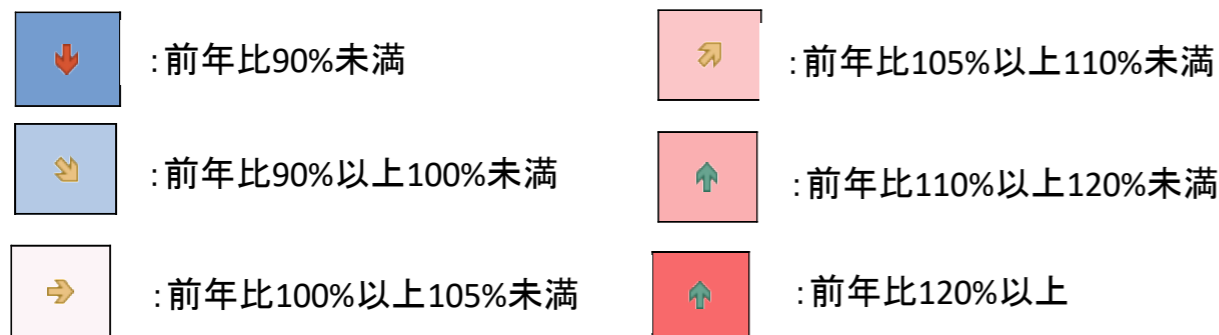
(2)前週(7/1週)との比較では、3品目すべてのカテゴリーで減少した。

※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売個数については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

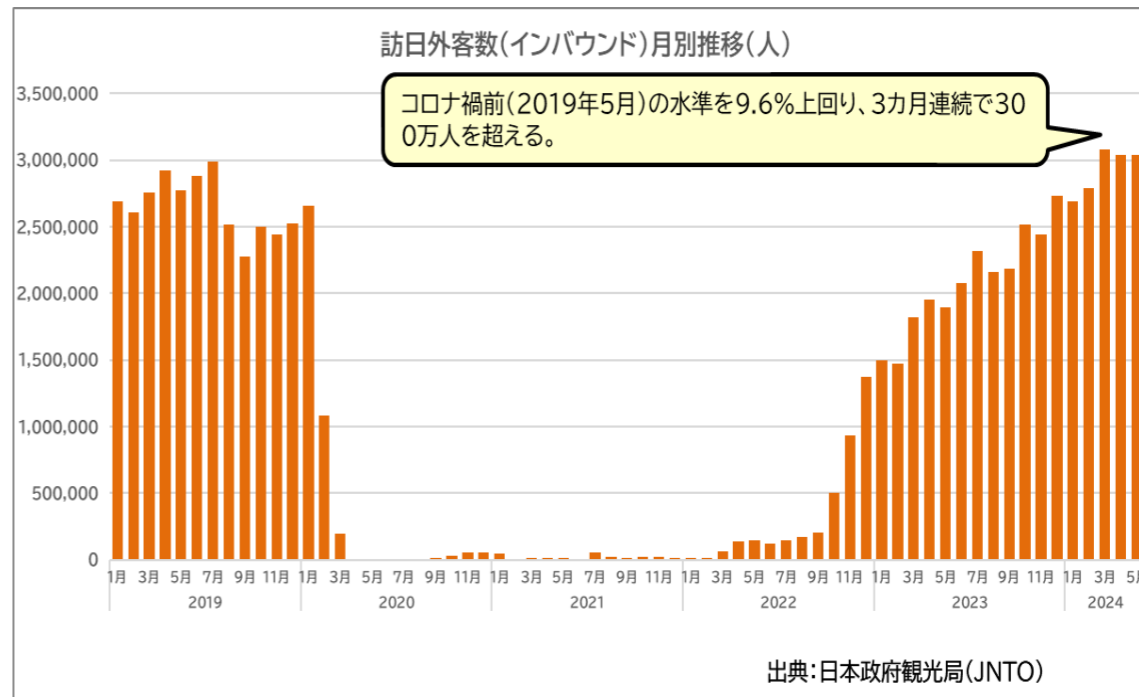
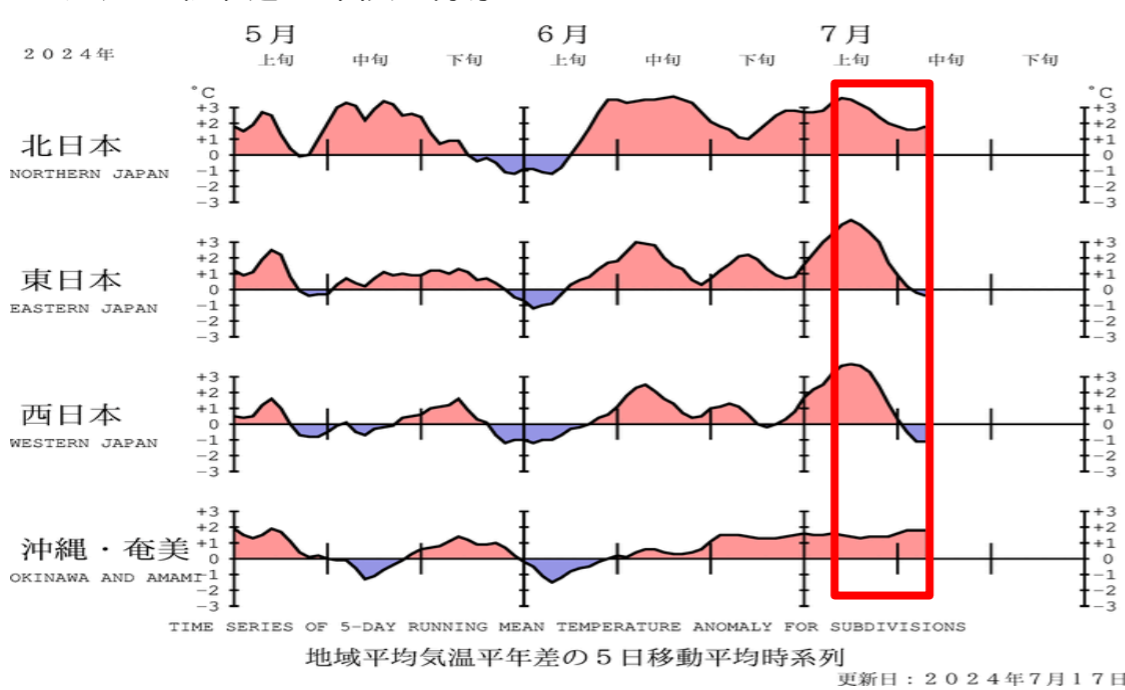
(千個)

品目	5.20-	5.27-	6.3-	6.10-	6.17-	6.24-	7.1-	7.8-
ドリンクタイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	→	→	→	→	↘	→	→	↘



※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※7/8週の気温経過 出典:気象庁



※「2024年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」